



田原本町立田原本中学校

2023 (R5 年度)
8月18日配信
第9号
文責：村井

〇めざす学校像

「ひとひといを生かす学校、規律ある美しい学校、みんなで力を合わせやり抜く学校」

夏休み

残り 1/4

35日間の夏休みも残すところ約4分の1となりました。今年も、大変暑い日が続いています。屋内外問わず熱中症が心配ですが体調を崩すことなく過ごせていますか。また、休み前にイメージしていたような日々を送ることができていますか？残りの休みを有意義に過ごすためにも、もう一度生活リズムを整え一日の過ごし方をチェックしましょう。起床→食事→活動→就寝でしたね！

< 校長先生がつかんだ情報から >

先日ニュースで、児童生徒がある施設を活用することで、効率よく夏休みの生活を送っている様子が報じられました。それは、“図書館”を活用しているという内容でした。普段は午前10時開館される所、夏休み中の開館時間を早めたことで、多くの学生（小中高）が、早起きして開館と同時に朝一番から利用するようになりました。受験勉強あり夏休みの宿題ありと、それぞれの立場で午前中に効率よく学習を行います。こうして一日がスタートするので、規則正しい生活を送ることが出来るということです。受験勉強や宿題の取組を考えれば、開館時間は別として“図書館”はヒントになるでしょう。部活動に参加している皆さんは、活動に休まず出席することで生活リズムを維持できるはず。残る夏休みは、そろそろ2学期へ向けて時間と気持ちをうまくコントロールしていきましょう。



© Can Stock Photo - csp37283843



本校では、修学旅行に向けて学年毎に平和について積み上げ学習に取り組んでいます。生徒の皆さんは、2年生から3年生の5月の修学旅行までに、社会科や総合の時間に第二次世界大戦時の沖縄戦や、広島・長崎の原子爆弾投下について一定の知識を学びます。そして、修学旅行では戦争に関する施設や資料館を訪問して学習を深めます。こう

した取組を経験し続けていくことが、中学生として平和な社会を維持し続ける大切な営みだと考えています。

しかし、時間の経過とともに「戦争が国同士の問題解決を図る手段として誤った選択であること」や、直接戦争を経験された方が高齢化する中「戦争の悲惨さ」が、世界的に年々薄らいでいかないと心配されます。実際に、ロシアのウクライナ侵攻や核兵器使用というワードが聞こえ、その背面には第三次世界大戦の構図さえ連想させています。5月に開催させた先進諸国首脳会議(G7)では、各国首脳が原爆ドームを訪れ戦争や核兵器の脅威を共有されました。特に今年の“終戦記念日”は、台風の影響により参列者の数は縮小されましたが、改めて「戦争の悲惨さを風化させない」「全世界が平和を維持する大切さ」を確認する機会となりました。

これから私たちは、平和学習をきっかけに戦争のことを学習し、年一回訪れる“終戦記念日”に平和の大切さに想いを馳(は)せることを忘れてはなりません。そして、これから生きる自分のために、また世界の子孫のために、積極的にこの日を平和の起点として、みんなで心に留め続けましょう。



最近の気象現象 想定を越える雨量・風力

温暖化による異常気象がその要因の一つなのか、世界各地で想定外の気象現象が発生しています。ハワイのマウイ島では火の勢いは毎分1.6kmで燃え広がる山火が発生し、観光都市のラハイナは壊滅的な被害を受ける大惨事(100名を超える犠牲者)となりました。日本でも8月中旬に発生した台風6号・7号は、全国的に荒天をもたらすお盆の帰省時期とも重なり人・物の移動に大混乱が生まれました。最近では、台風や低気圧による雨や風が、人工建造物の耐性を超えて被害をもたらすことが増え、今後もその頻度は増すように思えてなりません。これから秋に向けて正に台風の発生する季節となります。生徒の皆さんも、その時には真剣に防災・減災の意識して行動してください。



改めて 終戦記念日 に 平和 を考える。

8月15日は、今年で78回目となる“終戦記念日”でした。